

授業科目名・形態	公衆衛生看護管理論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
担当者氏名	吉田 幸子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

様々な地域集団の特性に応じた健康課題解決のための保健活動は、健康水準を高めることを目的に展開する公衆衛生看護管理機能そのものである。具体的には事例管理・地区管理をはじめ、情報管理、事業管理、予算管理、組織管理、人材育成、健康管理等のそれぞれの管理機能を学ぶことにより、すべての保健師に管理能力が必要であることを理解し、それを其々が十分に発揮することで公衆衛生看護活動の質が高まり、人々の健康を保証することにつながることを目指す。

【到達目標】

- 1) 健康水準を高める公衆衛生看護管理の特徴を理解できる。
- 2) 具体的な公衆衛生看護管理機能（事例管理、地区管理、情報管理、事業管理、予算管理、組織管理、人材育成、健康危機管理等）を理解できる。
- 3) 保健師に管理能力が必要なことを理解し、人々の健康を保証する能力を養うことができる。

【授業計画・内容】

第1回	公衆衛生看護管理の特徴	①公衆衛生看護管理の理念
第2回	〃	②公衆衛生看護管理の基本
第3回	公衆衛生看護管理の実際	①組織運営と管理
第4回	〃	②人材育成・人事管理
第5回	〃	③事業・業務管理、予算管理
第6回	〃	④情報管理
第7回	〃	⑤地域ケア（ヘルスケア）の質の管理
第8回	〃	⑥健康危機管理

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学習内容を復習する。

【主な関連する科目】

「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」「公衆衛生看護活動展開論」「公衆衛生看護学」

【教科書等】

「公衆衛生看護学.JP 第版 データ更新版」 インターメディカル

【参考文献】

「最新保健学講座5 公衆衛生看護管理論」メジカルフレンド

【成績評価方法】

筆記試験 100%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

実務経験で得られた公衆衛生看護管理機能について、事例を織り交ぜグループワークを取り入れながら、学生自らが考え習得できるように講義内容を工夫したい。

【学生へのメッセージ】

公衆衛生看護管理論では、「管理」が、いわゆる管理者だけが行うものではなく、新任保健師から管理期の保健師まですべての保健師に求められる能力であることを理解しましょう。保健師一人ひとりが十分にその機能を発揮できるよう、講義では具体的な「事例」等も用いながら進めていきます。その際、事例を基にしたグループワークを含め行っていきます。